

様式第1号 (第6条関係)

協働事業に関する提案書

平成 28年04月07日

(宛先)狭山市長

団体名 サヤマセカンドステージ
Sayama Second Stage
所在地
代表者名 南部健一郎

次のとおり、協働事業に関して提案します。

1 提案する協働事業	行政提案型協働事業
2 事業名	対話によるまちづくり広場の開催 「つな×つな狭山」
3 事業期間	平成28年6月1日から平成29年2月末日
4 事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度事業 <input type="checkbox"/> 継続事業
5 事業予算	総額 298,000円 (委託料250,000円)
6 事業概要 ※100字以内で簡潔に記入してください	市民と行政、市民と市民が対等な立場で目的を共有し、相互に連携、協働してまちづくりを進めていくことを目指して、これからのまちづくりについて想いを聴き合い、話し合う場として「つな×つな狭山」を開催する。期間中に4回以上開催し、人と人がつながり、効果的に連携したまちづくりを実践するための土壌を生み出す場となることを目指す。 (「つな×つな」とは「つなぐ、つながる」の略称)
7 添付書類	<input type="checkbox"/> 協働事業に関する企画書 (様式第2号) <input type="checkbox"/> 協働事業収支予算書 (様式第3号) <input type="checkbox"/> 協働事業実施スケジュール (様式第4号) <input type="checkbox"/> 協働事業提案団体概要書 (様式第5号)



協働事業に関する企画書

団体名 Sayama Second Stage

1 事業名	対話によるまちづくり広場の開催 「つな×つな狭山」
2 事業の詳細	<p>(1)対話型ワークショップ広場の開催(期間中4回以上) 参加者:市民、市民団体(NPO法人、社団法人等)、企業、大学、行政、など数多くの市民と狭山市に関わる人 ＜プログラム例＞ ①アイスブレイク(参加者の緊張をほぐす対話の準備) ②協働のワーク(作業を通して協働精神を学ぶ) ③ワールドカフェ(多数の人と意見を交わし心行き交う)</p> <p>(2)広場開催後の意見の集約 広場で出た意見を集約し、報告書にまとめる。</p>
3 実施体制	<p>協働フォーラムを経て組織された「Sayama Second Stage」より選出されたコアメンバー6名を中心に運営する。 広場のファシリテーター(進行役)は一般社団法人ISPの代表理事・山ノ内凜太郎氏が務める。</p>
4 役割分担	<p>【提案団体の役割】 (1)企画立案と広場の運営 (2)講師との調整 (3)広報(印刷物の作成・配布、SNS等による情報発信・管理等) (4)開催会場の管理(準備・片付け等)</p> <p>【市の役割】 (1)企画立案における助言 (2)周知(市公式ホームページ、市関係機関へのチラシの配布等) (3)講師の手配 (4)財政的支援(委託料)</p>
5 協働の効果	<p>市民と市民、市民と行政が想いを聴き合い、言葉を交わすことにより、協働の意識が芽生える。協働のまちづくりに向けて意識高揚を図る事ができる。 行政職員に対しても、「市民と共にするまちづくり」の意識をもってもらい、効果的な協働推進が図れる。</p>
6 事業のアピールポイント	<p>協働フォーラム運営で得た経験を生かし、多くの市民と共にわがまち狭山の未来について語り聴きあう対話の場を継続して行う。 市民活動の経験のない人にも、最初のきっかけとなるようにしたい。</p>